

機械器具 61 歯科用ハンドピース
管理医療機器 歯科用ガス圧式ハンドピース 40958000
特定保守管理医療機器 ティーマックス ZT

* 【禁忌・禁止】

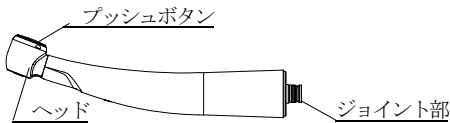
- ・回転中、プッシュボタンが押されないようにすること。特に頬側部の使用ではボタンが押されないようにすること。[やけどのおそれ]
- ・使用可能な給気圧以外で使用しないこと。[歯科用回転器具（以降バーという）破損によるけがのおそれ]
- ・バーの最大長さ（21mm）を超えたバーは使用しないこと。
[バー破損によるけがのおそれ]
- ・以下のようなバーは使用しないこと。[バー破損によるけがのおそれ]
 - 曲がり、変形、錆、欠け、折れなどがみられるもの
 - 磨耗の激しいもの
 - 刃や軸に傷が付いたもの
 - J I S 規格外のもの
 - 後加工を施したもの
- ・バーの製造販売業者が指定する回転速度を超えて使用しないこと。
[バー破損によるけがのおそれ]

** 【形状・構造及び原理等】

1) 構成

<ハンドピース>

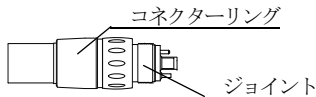
Z900L（代表モデル）



種類	使用可能なバー	照明機能
Z800	φ1.59～1.60mm ショートシャンクバー、スタンダードバー (J I S T 5504-1に規定された 軸部形式3の歯科用FGバー)	無し
Z800L		有り
Z800KL		
Z800SL		
Z800BL		
Z800WL		
Z800ML		
Z800YL		
Z800FL		
Z900	φ1.59～1.60mm スタンダードバー (J I S T 5504-1に規定された 軸部形式3の歯科用FGバー)	無し
Z900L		有り
Z900KL		
Z900SL		
Z900BL		
Z900WL		
Z900ML		
Z900YL		
Z900FL		

<カップリング>

PTL-CL-LED（代表モデル）



2) 仕様

種類	給気圧	回転速度
Z800	0. 25～0. 3 MPa	360, 000 ～ 440, 000 min ⁻¹
Z800L		
Z800KL		
Z800SL		
Z800BL		
Z800WL		
Z800ML		
Z800YL	0. 18～0. 22 MPa	320, 000 ～ 400, 000 min ⁻¹
Z800FL		
Z900	0. 25～0. 3 MPa	
Z900L		
Z900KL		
Z900SL		
Z900BL		
Z900WL		
Z900ML		
Z900YL	0. 18～0. 22 MPa	
Z900FL		

3) 主な原材料

ステンレス鋼、チタン、窒化クロム

4) 原理

歯科用ユニットから供給される圧縮空気をヘッド部に導入し、ローターの翼車に吹き付けることにより、ローターに取り付けた歯科用バーが回転する。

【使用目的又は効果】

圧縮空気を回転に変換することにより、歯科用バーを駆動すること。

** 【使用方法等】

1) 使用前準備

- ① 初回使用前に必ず【保守・点検に係る事項】に記載の方法に従い洗浄、清掃、注油、滅菌を行う。
- ② 歯科用ユニットのホース（以降はホースという）にカップリングのジョイント部を取り付ける。（Z800ML、Z900ML）
- ③ ハンドピースのジョイント部にカップリングを挿し込み取り付ける。
- ④ プッシュボタンを押しながらチャックを開き、J I S T 5504-1 軸部形式3で規定されたシャンクをもつφ1.59～1.60mmのバーを挿入し、プッシュボタンを離してバーをチャックに保持させる。
- ⑤ 患者の口腔外で【保守・点検に係る事項】に記載の方法に従い使用前点検を行う。

2) 使用方法

歯科用ユニットから空気及び水を供給し、治療を行う。

3) 使用後

- ① ハンドピースからバー及びカップリング又はホースを取り外す。
- ② 【保守・点検に係る事項】に記載の方法に従い洗浄、清掃、注油、滅菌を行う。

【使用方法等に関連する使用上の注意】

- ・使用時、又は点検時にバーの振れ、振動、音、温度（発熱）、ライトの不点灯、水量不足等の異常を感じた場合、直ちに使用を中止し、取扱説明書の記載に従い対処すること。

取扱説明書を必ずご参照ください。

- ・バーは奥にあたるまで挿入すること。スタンダードヘッドにショートシャンクバーは挿入しないこと。
- ・バーの着脱は回転が完全に停止してから行うこと。
- ・ハンドピース及びホースの着脱は給気圧を完全に停止してから行うこと。
- ・バーはプッシュボタンを十分に押して着脱すること。
- ・バーを浅咬みの状態で使用しないこと。
- ・バー、又は装着するバーのシャンクはゴミ等の付着がなく清潔なものを使用すること。
- ・使用するエア―はゴミ、水、オイル等が混入しない清潔なエア―を使用すること。
- ・ハンドピースをホースに接続する際、カップリング、又はホースの取扱説明書を参照すること。
- ・カップリングがホースへ確実に挿し込まれていることを確認すること。
- ・ハンドピースをカップリングへ接続後、ハンドピースを軽く引き、確実に挿し込まれていることを確認すること。
- ・ハンドピースやバーに過度な力を加えて使用しないこと。
- ・使用中の万一の故障等に備え、スベアのセットを用意することを推奨する。

**【使用上の注意】

1) 重要な基本的注意

- ・適正な給気圧以外で使用しないこと。[破損によるけがのおそれ]
- ・使用するバーは、取扱説明書に記載のある「バーの最大長さ」を超えないこと。[破損によるけがのおそれ]
- ・給気圧が掛っている時は、コネクターリングを動作しないこと。
- ・切削物で目を傷つけないよう保護眼鏡、防塵マスク等を装着すること。
- ・治療時は、注水せずに使用しないこと。[ハンドピースの発熱、歯面を傷つけるおそれ]
- ・LED光は直接見ないこと (Z800BL、Z800WL、Z900BL、Z900WL のみ)
- ・酸化電位水 (強酸性水、超酸性水)、強酸、強アルカリ性の薬剤、塩素含有の溶液、ベンジン、シンナー等の溶剤で洗浄、浸漬、拭き取りをしないこと。[金属部の腐食等が発生するおそれ]

2) その他の注意

落下させるなど強い衝撃を与えないこと。

**【保管方法及び有効期間等】

<耐用期間>

製造日から正規の保守点検 (消耗品の交換) を行った場合に限り 7 年間 [自己認証 (当社データ) による] とする。

**【保守・点検に係る事項】

1) 洗浄・清掃・注油・滅菌

<クリーンヘッド>

- ① 広口の容器にきれいな水を入れる。
- ② クリーンヘッド穴まわりの汚れを落とす。
- ③ ハンドピースを回転させ、そのまま水中にヘッドの半分が隠れるくらいまで入れ、水中でハンドピースの回転と停止を 2～3 秒間繰り返し行う。(3 回程度)
- ④ 水中から取り出したハンドピースを停止させ、水分をよく拭き取り、乾かす。

<ハンドピース>

- ① 表面の汚れをブラシ (金属製は不可) 等で払い落とし、消毒用アルコールを含ませた綿等で拭き取る。(熱水洗浄器の使用が可能。洗浄後は内部を十分に乾燥させ、水分を取り除くこと)
- ② グラスロッドにゴミや切削粉などが付着した場合、綿棒等に消毒用アルコールを染み込ませて丁寧に拭き取る。(Z800、Z900 を除く)
- ③ 注水ノズルが詰まったり、注水が十分に出来ない場合は、付属のクリーニングワイヤを注水ノズルへまっすぐ挿し込み清掃をする。
- ④ 製造販売業者が指定するスプレー式オイル (以降はスプレーという) でハンドピース内部を注油洗浄する。週に 1 回、チャックの注油洗浄も行う。
- ⑤ オートクレープ用パックに入れて 135℃ までのオートクレープ滅菌を行い、使用時までオートクレープ用パックに入れたま

ま清潔な状態を保てる場所に保管する。

[推奨する滅菌条件]

高圧蒸気滅菌 (オートクレープ)

温度	時間
121℃	20 分間以上
132℃	15 分間以上
134℃	3 分間以上

<カップリング>

表面の汚れをブラシ (金属製は不可) 等で払い落とし、消毒用アルコールを含ませた綿等で拭き取る。

・洗浄に関する注意

- － 洗浄に使用する水は患者毎に取り替えること。
- － カップリングは水洗い、及び熱水洗浄を絶対に行わないこと。
- － クリーンヘッドの穴には、クリーニングワイヤを挿し込んだり、エア―を吹き込まないこと。

・清掃に関する注意

- － グラスロッドを清掃する際に針や刃物などを使用しないこと。[傷がつき、光の透過率が低下するおそれ]
- － 注水ノズルにクリーニングワイヤを無理に挿し込んだり、斜めに挿し込んだりしないこと。
- － チャックの清掃を怠らないこと。[チャック内の清掃を怠るとチャック内にゴミがたまり、バーが抜けるなどのおそれ]

・注油に関する注意

- － 注油洗浄する際、スプレーの圧力により、ハンドピースが飛び出さないよう確実に押さえること。
- － スプレーはハンドピース先端よりオイルが出るまで (2～3 秒間) 行うこと。

・滅菌に関する注意

- － オートクレープ滅菌以外の滅菌は行わないこと。
- － オートクレープ滅菌前は、必ず十分な洗浄、注油を行うこと。[ハンドピース内部に血液等の汚れが残ったままオートクレープ滅菌をすると、固着して故障の原因になるおそれ]
- － 薬液の付着した器具と一緒にオートクレープ滅菌しないこと。また、オートクレープ滅菌器の中には薬液が入らないように注意すること。[表面が変色したり、内部部品に影響を与えるおそれ]
- － 乾燥工程において 135℃ を超える場合は、乾燥工程を省くこと。
- － 急加熱、急冷却するようなオートクレープ滅菌は行わないこと。
- － オートクレープ滅菌直後は高温となっているため、取り扱いに注意すること。
- － カップリングはオートクレープ滅菌しないこと。

2) 使用者による保守点検事項

<使用前点検>

- ・カップリングに装着後、無負荷最高回転させた時にバーの振れ、振動、異音、温度上昇 (発熱) がないことを確認する。(毎回)
- ・ヘッドキャップに緩みがないことを確認する。(毎回)

<定期点検>

- ・カップリング装着後、無負荷最高回転させた時にバーの振れ、振動、異音、温度上昇 (発熱) がないことを確認する。(3 カ月毎)
- ・ヘッドキャップに緩みがないことを確認する。(3 カ月毎)
- ・ハンドピースを回転させ、注水が噴霧状態になることを確認する。(3 カ月毎)

取扱説明書を必ずご参照ください。

<消耗品の交換>

No.	品名	交換時期	頻度
1	カートリッジ	ハンドピースにノズルの振れ、振動、音、温度（発熱）等の異常を感じた場合は、カートリッジを新しいものに交換する。交換後は、ヘッド内部を注油洗浄する。	適宜
2	Oリング※	ジョイント部から水、エアー漏れ、又は排気に水が混じる等の症状が出た場合、また、Oリングが損傷、摩耗した場合は、Oリングを新しいものに交換する。	適宜
4	逆止弁	ハンドピースを停止しても水が漏れる場合は、逆止弁を新しいものに交換する。	適宜

※Z800L、Z800、Z900L、Z900

詳細については取扱説明書を参照すること。

・消耗品の交換に関する注意

- カートリッジを取り外した後は、ヘッド内部からOリングが取り除かれていることを必ず確認すること。
- カートリッジを取り外す際、ハンドピースの使用状況によりカートリッジの部品の一部がヘッドキャップ内に固着していることがあるため、ピンセットなどで固着した部品を取り除くこと。
- カートリッジを分解し、修理しないこと。[分解した場合、音や振動が大きくなり、部品が脱落するおそれ]
- カートリッジを交換する際、製造販売業者が指定する純正カートリッジを使用し、指定以外のものを使用しないこと。
- ヘッドキャップのネジを締め付ける際、最初からヘッドキャップレンチで締め付けないこと。軽く手で締めてから、ヘッドキャップレンチで締め付けること。
- Oリングを取り付ける際は、取り付け位置を間違えないように注意すること。
- Oリングをカップリング軸の溝に入れ込む際、Oリングを過度な力で伸ばしたり、針などを使用しないこと。(Z800L、Z800、Z900L、Z900)
- テーパーリングを確実に締め込むこと。[締め付けが弱く場合、水、エアー漏れ、また、カップリングからハンドピースが取り外せなくなるなどのおそれ] (Z800L、Z800、Z900L、Z900)

3) 業者による保守点検事項

専用品である治具・測定器を使用した点検調整（1年に1回）

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者：株式会社ナカニシ

ナカニシお客様相談窓口



0120-7242-56

受付時間 9:00～17:00（土日・祝祭日を除く）

TEL：0289-64-3380

FAX：0289-62-5636

取扱説明書を必ずご参照ください。